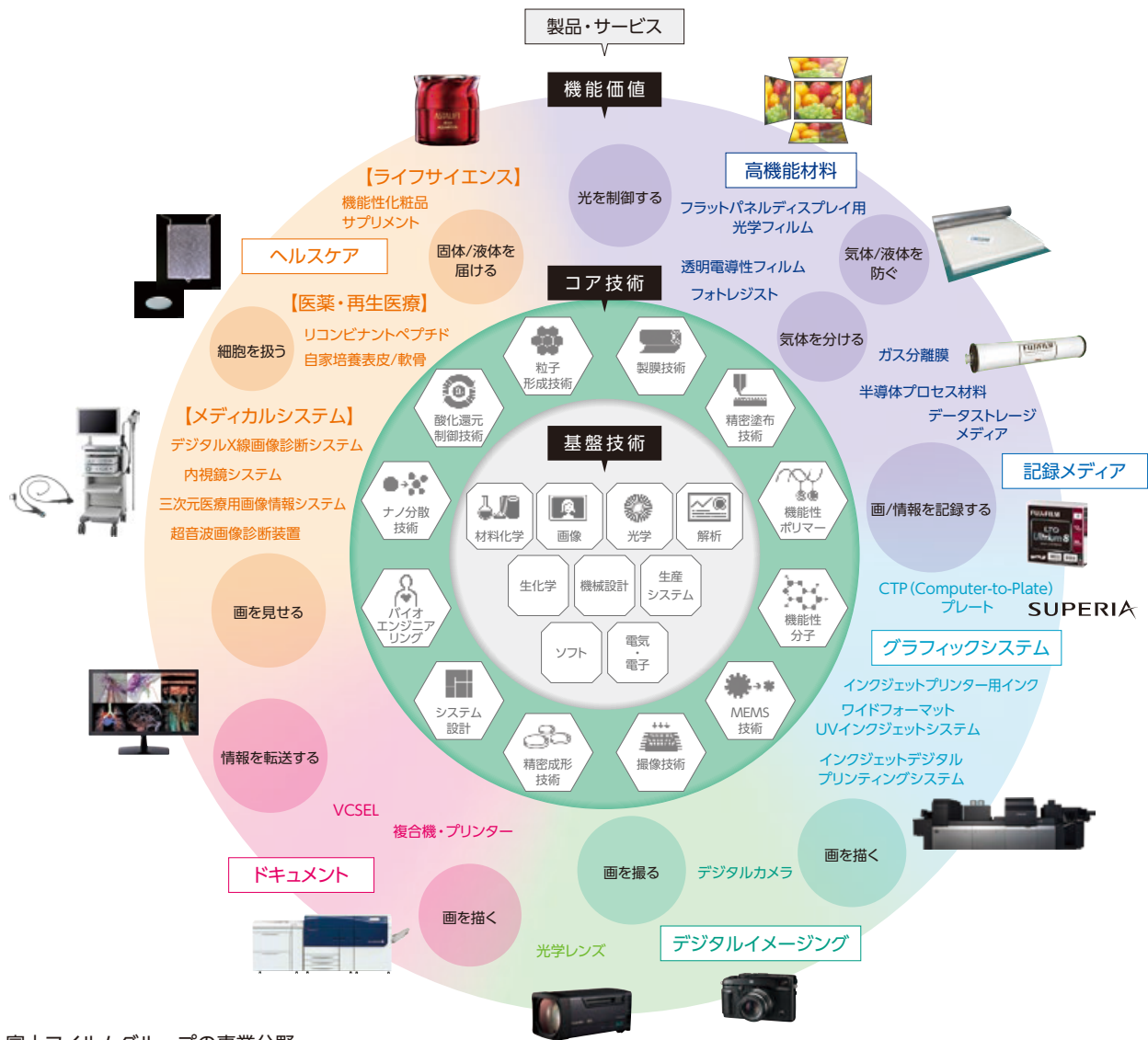


富士フィルムグループの事業とイノベーション

映画や写真のフィルムから始まった富士フィルムグループは、現在、「銀塩写真」で培った技術力を生かし幅広い事業を行っています。事業を支える基礎となる基盤技術と、持続的に競争優位性を築くための核となる独自のコア技術を磨き、それらを組み合わせることで、様々なイノベ

ーションを生み出しています。そしてこれからもコーポレートスローガン「Value from Innovation」の精神に則り、さらなる技術向上とオープンイノベーションを加速させることで、社会に新たな価値をもたらす革新的な製品、サービスを生み出し続けていきます。



富士フィルムグループの事業分野

イメージングソリューション

デジタルカメラ、プリント用カラーペーパー、プリント機器などを開発・販売。チェキやフォトブックなど、新たな写真の楽しみ方の提案により、写真文化の普及・拡大に努めています。また、監視用カメラレンズから衛星用レンズまで、様々な用途に使用されるレンズを提供しています。

ドキュメントソリューション

紙の文書だけではなく、電子データを含めたドキュメントビジネスを行っています。オフィス向けの複写機・複合機、業務効率化をサポートするソフトウェアなど、省エネ・省資源などの環境問題解決、働き方/生産性改革を実現する多様なソリューション&サービスを提供しています。

ヘルスケア&マテリアルズソリューション

ヘルスケア分野では「予防」「診断」「治療」の3つの分野で事業を推進。早期発見をサポートする高度な検査機器、診断結果を効率的に活用する医療IT、予防のための化粧品・サプリメント、アンメットメディカルニーズに対応する医薬品、新たな医療技術として期待される再生医療などに取り組んでいます。

マテリアル分野では高度な基盤技術・コア技術を応用し、液晶ディスプレイに不可欠な偏光板保護フィルムをはじめ、高性能なデータストレージメディア、トンネルや橋梁などの社会インフラ点検サービスなど、環境負荷低減や安心・安全な社会に貢献する材料・機材の開発に取り組んでいます。